

# TEISO TOYOKA NEWS

2015年3月号 VOL.74

企画・発行：(株)テイソートヨカ 四日市技術研究所  
掲載している記事の無断使用を禁じます。〈URL〉 <http://www.teisotoyoka.com> 〈E-mail〉 [info@teisotoyoka.com](mailto:info@teisotoyoka.com)

## 冬でも元気？ ユスリカについて

毎日寒い日が続き、外出するのも億劫になる今日この頃です。そんな中ふと目を外にやると、フワフワと小さな羽虫が飛んでいます。その虫、「ユスリカ」かもしれません(写真1)。

ユスリカはハエ目ユスリカ科に属する昆虫で、世界中で約15,000種、日本で約2,000種発見されていますが、どれも似たような姿をしているために種の識別が難しく、分類の研究もあまり進んではいません。ユスリカの成虫は「蚊」を一回り小さくしたような姿をしています。蚊のようなストローの口(口吻)を持たず、人や動物から血を吸うことはありません(写真2)。成虫は基本的に何も食べることは無く、寿命も数日間と儂い命です。一般的にあまり知られていない虫かもしれませんが、身の回りをよく探してみると、あちこちに生息している身近な生き物なのです。

ユスリカの大きな特徴の一つに、「蚊柱」の形成があります。小川や水の溜まった側溝の近くを通ると、蚊柱が舞っているのを見かけます。自転車などで通り抜けると虫が服に付いたり口に入ったりと嫌な思いをすることもあります。実はこの蚊柱、ユスリカのオスが集まって形成されたものです。彼らは一箇所に集まり、あとから羽化してくるメスを待ち構え交尾のチャンスを狙っているのです。先述の通りユスリカにもたくさん種がいますので、間違えて別の種と交尾してしまわないように、彼らは種によって異なる羽音を発し、その音を頼りに同種の異性を探します。音を用いたコミュニケーションはセミやコオロギなどが有名ですが、他にもハエ、カメムシ、ゴキブリ、甲虫、蛾など意外にも多くのグループで利用されていることがわかってきています。

また、ユスリカは海という環境に適した数少ない昆虫です。昆虫は全動物中の約2/3を占めるほど地球上で繁栄しているグループであり、生息場所も、高温の温泉地帯から極寒の高山地帯、南極や北極、さらに砂漠や石油中で育つものまでありますが、海に生息する昆虫はユスリカの数種を始めとしたごくわずかです。なぜ昆虫が海に進出していないのかは未だに謎で、現在も議論が交わされています。

このように様々な環境に適応したユスリカの中には、冬の寒い時期に活動をする種もいます。フユスリカの仲間は、むしろ夏の暑い時期に幼虫が繭を形成して「夏眠」をし、冬に成虫が活動を始めます。これら冬季に活動するユスリカは、食べ物の少ない冬に鳥などの動物の貴重な食料源となっているという報告もあります。身近にいる何気ない虫でも、詳しく調べてみるとなかなか面白いことがわかってきます。(K.Y.)



写真1. 2月に捕獲されたユスリカ

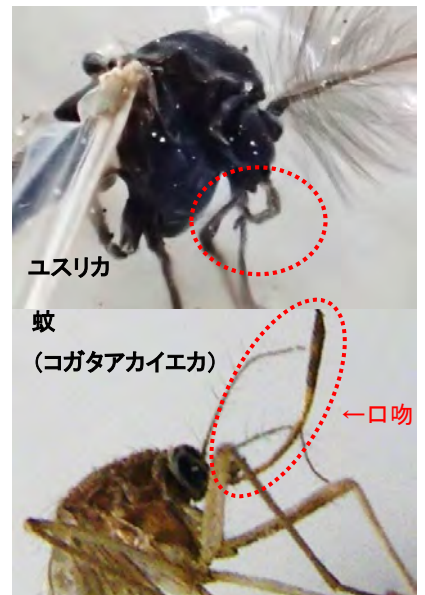


写真2. 蚊とユスリカの口器の違い

## 今月のオススメ① 後処理もカンタン♪クリーンな消火器

今月は食品工場や医療施設でもご利用いただける、クリーンで後片付けの簡単な消火器をご紹介します。

### セーフミスト

セーフミストの成分には、**食品添加物**に用いられているものを使用しているため、食品を取り扱う厨房、レストラン、食品工場をはじめ、医療施設など衛生面に厳しい環境にもオススメです。



### クリーンミスト

クリーンミストは**純水をベース**に作られています。埃、塵、化学物質などに敏感な電子機器類の工場、クリーンルーム、医療施設、事務所などにご利用いただけます。よりクリーンな消火器で、消火後の汚染などの二次災害を最小限に！



### キッチンアイ

キッチンアイは**お酢を原料**にしており、環境にもからだにもやさしい住宅用消火器です。厚生労働省に認可された安心・安全な消火器です。

★★各種消火器につきましては、弊社HPからお問い合わせ下さい★★



## 自然の復元力 Vol. 55

今回は先月号に予告しましたデング熱の第二弾です。

### (2)デング熱媒介蚊の発生源はどこか？

蚊媒介性感染症の平常時対策において最も重要なことは、媒介蚊の発生源を調査することです。デング熱を媒介するヒトスジシマカの産卵場所は、墓石の花立、雨水桝、竹切り株、手洗い鉢、水槽、古タイヤ、桶、ツボ、植木鉢の受け皿、空き缶、空き瓶、樹穴、岩の窪み、植物の腋芽など、極めて多様な小水域の壁面で、苔の生えた微小な水たまりなどにも多いです。発生量の多い場所は竹藪のような場所や植生の多い庭などです。このような環境では蚊の発生場所を特定するのは非常に難しいです。しかし、墓や雨水桝などの屋外の人工器物であれば発生の有無を日常的に監視することが可能です。ヒトスジシマカは、貯水面より数 mm～数 cm 高い、程よく湿った位置に産卵することが多いです。1回の産卵数は小水系の大小によって異なると考えられます。孵化した幼虫が限られた空間で生育に必要な養分を摂取しなければならないために、特に微小な水系では産卵数は数個程度が限度ではないかと推測されます。

アカイエカ、チカイエカ、コガタアカイエカ、シナハマダラカなどの蚊は水面に卵を産みますが、ヒトスジシマカは水面には産卵しません。ヒトスジシマカが産卵するような場所は、常時貯水しているとは限らない小水系です。ちょっとした降水によっても、卵が水没し、またその一方で長い間雨が降らない場合には、水が干上がってしまう場合もあります。蚊の幼虫期は水の中で生活しますので、ヤブカ類はより厳しい環境を生活圏に選んでいることが分かります。

ヒトスジシマカが少水系を産卵場所を選んだのは、彼らの生き残り戦略であると思われます。他の蚊種との生存競争に負けず、魚や他の昆虫といった天敵から生き残るために、狭い小水系を産卵場所を選択したのだと筆者は確信しています。また乾燥の危険に常にさらされる小水系を産卵場所を選んだことで、卵が乾燥に耐える特性を獲得したと考えられます。その結果、ヒトスジシマカは多種が入り込めないような環境に適応することで、生息域の拡大に成功しています。これによって、彼らの生き残り作戦は見事に成功していると言えるでしょう。

ところで、1970年頃より古タイヤが日本から米国等に再利用と燃料を目的に輸出されています。古タイヤは雨水などが溜まりやすく、野積みになるとヒトスジシマカにとって恰好の発生源になります。古タイヤの輸出先では、古タイヤを一時的に野積みにするため、タイヤに産卵されたヒトスジシマカが孵化し、近隣に拡散し定着することが分かりました。この結果、近年では、ミシシッピ川全流域ばかりか、全米各地でも広く発生が確認される事態になっています。(つづく) (Sin)

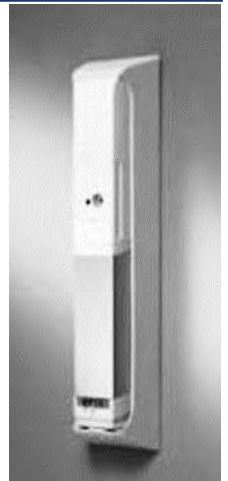
### 今月のオススメ② 電池で動くコンパクトな飛翔昆虫防除器

今回ご紹介するのは、業務用飛翔昆虫防除器「STRONTEC<sup>®</sup>」です。この STRONTEC<sup>®</sup>は、液剤を気体ではなく微粒子として拡散させる特許技術を活用することで、より高い防虫効果を発揮するオススメ商品です。

STRONTEC<sup>®</sup>の有効成分はピレスロイド系のプロフルトリンであり、昆虫に対して即効性があります。なおかつ分解性が高く残留も少ないため、人や環境への**安全性が高く**、コンビニエンスストア、飲食店、工場、医療機関など非常に幅広い分野でご利用いただけます。

「店舗の中に防虫器を設置すると目立ってしまうのでは？」「景観を損ねてしまう！」といった問題も、この STRONTEC<sup>®</sup>なら一気に解決！本体はコンパクトかつスリムなデザインで(幅約 40 mm×高さ約 200 mm×奥行約 40 mm)、壁に設置する際もネジ止め・両面テープでの設置が可能であり、**取り付けラクラク**。効果は単 3 型乾電池 2 本で最長 3 ヶ月間持続し、コンセントなどの電源を必要としないため、**設置場所も自由自在**です。

STRONTEC<sup>®</sup>に関するお問い合わせはテイソートヨカ(TEL: 052-891-8311)まで！



STRONTEC<sup>®</sup>



Eco Friendly Pest Management

自然にやさしい総合的有害生物管理

株式会社テイソートヨカ

IPM・コンサルティング・異物同定分析

有害生物(ネズミ、ゴキブリ等)管理・ノラバト飛来防止施工

〈URL〉 <http://www.teisotoyoka.com> 〈E-mail〉 [info@teisotoyoka.com](mailto:info@teisotoyoka.com)

本社・名古屋東営業所	〒468-0045	名古屋市天白区野並 2 丁目 334 番地の 2	TEL 052-891-8311	FAX 052-891-8440
名古屋西営業所	〒453-0818	名古屋市千代田区千成通 4 丁目 18 番地	TEL 052-482-6591	FAX 052-482-8778
岐阜営業所	〒501-6264	岐阜県羽島市小籠町島 4 丁目 61 番	TEL 058-392-6454	FAX 058-392-6407
三重営業所	〒510-0863	三重県四日市市大字塩浜 4005 番地 1	TEL 059-345-3571	FAX 059-345-3572
北陸営業所	〒920-0356	石川県金沢市専光寺町夕 47 番地 1	TEL 076-266-6474	FAX 076-267-6480
富山営業所	〒939-8261	富山県富山市萩原 42 番地 1	TEL 076-481-6474	FAX 076-481-6471
新潟営業所	〒950-0993	新潟県新潟市中央区上所中 2 丁目 1 番 7 号	TEL 025-283-6474	FAX 025-283-6497
四日市技術研究所	〒510-0863	三重県四日市市大字塩浜 4005 番地 1	TEL 059-325-6431	FAX 059-325-6430